

6魚健工第4号 魚沼市立小出病院患者医療費自動精算機更新工事 仕様書

項目	項番	要求仕様等
自動精算機		自動精算機に関し、以下の要件を満たすこと。
調達物品内容		自動精算機本体 1台 自動精算機稼働管理PC 1台 その他更新工事物品 1式
性能及び機能に関する要件	1	通信及び接続の条件に関し、以下の要件を満たすこと。
	1-1	医事会計システムと自動精算機システムをLAN接続（TCP/IPソケットインターフェース）で接続でき、接続仕様は医事会計システムが提示する仕様書に準拠すること。
	1-2	自動精算機本体に、診察券（磁気カード・JISⅡ型）の挿入、患者IDバーコードの読取、かつ、患者IDのテンキー入力により、自動精算機の画面に当該患者の請求金額を表示できること。
	1-3	収納を制限する情報を医事会計システムより受け取り、その旨の内容を表示できること。また、病院指定金額以上の請求金額が発生した場合、自動精算機側にて収納を制限できること。
	1-4	自動精算機に診療料金が入金されることにより、医事会計システムの未収情報が入金済み状態になり、領収証に印字される内容が送信できること。
	1-5	自動精算機更新に伴い、必要となる医事会計システム側のシステム改修・環境設定作業を実施すること。
	2	自動精算機本体に関し、以下の要件を満たすこと。
	2-1	偽造紙幣や偽造硬貨の収納を防止できること。
	2-2	患者ID入りの磁気ストライプカードの読取ができるカードリーダを搭載していること。
	2-3	患者IDのバーコード（QRコードの読取も可能であること）が読取れるバーコードリーダを搭載していること。
	2-4	バーコードリーダは読取用紙を表向きで利用できレーザー光が直接目に触れないこと。
	2-5	操作補助用として本体に手すりがあること。
	2-6	操作を促す人感センサーを内蔵していること。
	2-7	防犯ブザーが搭載してあること。
	2-8	呼び出しボタンを搭載しており、取引中に患者様がボタンを押下することで稼働管理PCに通知されること。
	2-9	音声での操作ガイダンス機能があること。
	2-10	LED（青）操作誘導ランプやスポットライト（白）を有していること。
	2-11	ライトの明るさは使用者（お客様）が札の種類を確認するため適度な明るさであること。
	2-12	傘・杖立て機能付きの専用荷物置き台を有していること。
	2-13	紙幣入金時及び硬貨入金時の可視化を図るため、入出金部監視カメラにて、患者ごとの入金時の映像を精算機本体及び稼働管理PCで確認できること。
	2-14	硬貨払出時の可視化を図るため、硬貨払出部にカメラを設置でき、患者ごとの出金時の映像を精算機本体及び稼働管理PCで確認できること。
	2-15	自動精算機本体の保守は、前面扉対応であること。
	2-16	大型専用名称パネルが搭載されていること。
	2-17	堅牢性は、日本自動販売機工業会が定めるレベル2に準拠した強度であること。
	2-18	無停電電源装置を内蔵していること。
	2-19	サーマルプリンタが2台同時に搭載でき、領収書と診療明細書の2枚同時発行対応ができること。
	2-20	操作画面が左右から見えないように、サイドパーテーションがあること。
	2-21	遠方からの稼働状況認識が可能なLED付サイドパーテーションであること。
	2-22	画面はタッチパネル方式で、19インチ以上の液晶カラーディスプレイであること。
	2-23	左右側面30度以上の角度からは画面が見えないプライバシー対応モニタであること。
	3	金銭処理機能に関し、以下の要件を満たすこと。
	3-1	入金処理は、以下の金種以上の取り扱いができること。
	3-1-1	・紙幣 全金種（一万円、五千元、二千元、一千元）
	3-1-2	・硬貨 全金種（五百円、百円、五十円、十円、五円、一円）
	3-2	入金方法は、紙幣20枚以上、硬貨50枚以上の一括混在投入ができること。
	3-3	出金処理は、以下の金種以上の取り扱いができること。
	3-3-1	・紙幣 全3金種（一万円、五千元、千円）
	3-3-2	・硬貨 全金種（五百円、百円、五十円、十円、五円、一円）
	3-4	出金方法は、紙幣20枚以上、硬貨50枚以上（混合一括出金）ができること。
	3-5	硬貨収納枚数は、五百円300枚、百円500枚、五十円500枚、十円500枚、五円500枚、一円500枚以上であること。
	3-6	紙幣収納枚数は、一万円札200枚（二千元札と混在）、五千元札100枚、千円札600枚、二千元札200枚（一万円札と混在）以上であること。
	3-7	金銭回収方法として、病院で任意に全額回収／売上金回収の選択ができること。
	4	カード対応機能に関し、以下の要件を満たすこと。
	4-1	クレジットカード支払いの対応ができること。

4-2	クレジットカード決済時、カード情報の非保持化又はPCIDSSに準拠していること。
4-3	クレジットカードのICチップを読取ることによる決済が可能なこと。
4-4	クレジットカードの挿入する場合、全部ではなく2/3は外に出て読み取れること。（IC対応）
4-5	一般社団法人日本クレジット協会が公布している「クレジットカード取引におけるセキュリティ対策の強化に向けた実行計画-2019-」が定める、外回り（精算機自体では「カード情報」を電磁的情報として『保存』、『処理』、『通過』させない仕組み）また、ICカード決済（EMV）が可能なEMVブランド認定を取得している決済端末であること。
4-6	クレジットカード払い時の入金区分情報を医事会計システムに送信できること。
4-7	支払い方法の選択操作はカード払い時のみ発生すること。（現金払いの場合は特別な操作が無いこと。）
4-8	クレジットカード払いの時、利用者が任意に1回払い/分割払い/リボ払いの選択ができること。
4-9	クレジットカードで1回払いの時、利用者が1回払いを画面で選択しない運用が可能なこと。
4-10	精算機本体が複数台の場合でも、インターネット回線は1本で対応できること。
5	画面表示機能に関し、以下の要件を満たすこと。
5-1	患者ID、患者氏名、入院・外来区分、受診年月日、診療科名、請求額（受診日、受診科毎）、請求額合計、投入額、釣銭額が画面に表示できること。
5-2	外字が含まれた患者氏名の表示ができ、未登録外字の場合はカナ氏名に自動変換できること。
5-3	請求項目の表示有無を、利用者が任意で切替が可能なこと。
6	領収書及び診療明細書印刷機能に関し、以下の要件を満たすこと。
6-1	病院指定の領収項目/レイアウトに対応でき、印刷ができること。
6-2	紙以外の消耗品が発生しないサーマルプリンターが利用できること。
6-3	1回の補充作業で、領収書及び診療明細書が各2,100枚以上発行できること。
6-4	ミシン目入りの領収書用紙が使用できること。
6-5	文字種当社指定フォントにてはANK、漢字JIS第1第2第3第4水準を網羅すること。
6-6	外字が含まれた患者氏名の印字ができ、未登録外字の場合はカナ氏名に自動変換できること。
6-7	領収書再発行機能を有すること。
7	精算機稼働管理PCに関し、以下の要件を満たすこと。
7-1	以下の遠隔指示機能を有すること。
7-1-1	電源のON、OFFの指示
7-1-2	現金専用対応/現金・カード併用対応/カード専用対応への切換
7-2	釣銭切れや領収書用紙切れの事前警告機能により、機器停止を未然に防ぐ機能があること。
7-3	金銭補充、抜取等の操作履歴管理ができること。
7-4	以下の帳票出力機能を有すること。また、CSV形式でファイル保存できること。
7-4-1	日計表（号機毎、合計/初期設定額、補充金額、取引金額、現金有高が金種別集計されたもの。）
7-4-2	処理単位、領収書単位の利用明細表（号機毎、合計/患者ID、取引時間、入出金額が印字されたもの。）
7-4-3	入院・外来別売上表（号機毎、合計）
8	性能及び機能以外に関し、以下の要件を満たすこと。
8-1	障害があった場合、迅速に保守する体制が整っていること。
8-2	障害があった場合、24時間365日体制のコールセンターを保持していること。
8-3	障害があった場合の連絡窓口は1箇所であること。
8-4	設置場所は病院の指定場所とすること。
8-5	電源はAC100Vで使用でき、消費電力も最大（ピーク時）で270W以内であること。
8-6	システム導入後、取り扱い方法について教育訓練を行うこと。
8-7	保守は導入後、1年間を無償保守期間とし、6年間は修理対応保証すること。（既存機器は除く。）
8-8	無償保守期間終了後の保守対応は、別途契約とすること。